

森本町役員等説明会会議録

平成27年5月2日（土） 午後7時～8時30分 場所：森本公民館

市側出席者：山中公室長、川口特命参与、井上課長、山下係長

天理市資料説明

天理市：他の町でも説明に伺った中で、何故そんなに急にという意見があった。資料の一番始めのスケジュールにありますように、今現在から始めましても9年かかるという事で、今の施設が持つ間にしないといけないので、そういう状況をご理解頂きたい。

森本町：自治体のごみが主体となって予定されていると、産業廃棄物として一般企業から持ち込んだりと、これからの建設に輪を広げたような計画とかは無いですか。

天理市：昔、国から併せて処理する産業廃棄物というのが廃棄物処理法に載ってまして、産業廃棄物処理というのは民間がする施設です。その許可というのはなかなか、やはり……。産業廃棄物の施設を造る時は、必ず隣地同意が必要になります。新設というのは、ほとんど出来ない。産業廃棄物を見ますと、建設業から出る木切れ、それも産業廃棄物なんです。木の枝とどう違うのかという話が、国の方から、施設自体が造れない中で、産業廃棄物の処理が出来ないという事で、市の方の一般廃棄物の処理施設でも、受けてくれないかと打診があり、天理市も木切れ程度の物を受けさせてもらっているのが現状です。今後、新施設になるなら、市の方も産業廃棄物をどこまで受けるかという問題が必ず出てくる。又、市民の方がごみ減量している中で、少しでも負担の掛からないような施設にして、費用を圧縮する中で、本当に産業廃棄物を取っていいのかというのが出てきます。国の方でも、木切れについては、建築リサイクル法というのが出来て80㎡以上の建屋を潰したりした場合、必ずリサイクルしないとイケない、燃やしてはイケませんというような法律も掛かって来る。今後クリーンセンターを建てる時、一般廃棄物に限定して建てていきたいなど。今のような、木切れでしたら、燃やしてもいいだろうと今までのレベルでは市民の理解も得られないし、もし広域で組むとなれば、うちの町では産業廃棄物出ないよという町があるかも知れない、そんな中、天理市だけ入れていいんですかと話あるので、その辺は産業廃棄物の炉では無いので、法律に則っていかないと思っています。今後、アセスメントするが、今のごみの現状も当然、アセスメントが入って、どんな物を取るか決まってきます。今後4年間、学者なり専門業者委託してやって行く中で決めていきます。意志決定する中では、当然市民の方にも入って頂くようになっていくと思います。クリーンセンターとしましては、産業廃棄物というのは、取らない方がいいかなと思います。

森本町：建設当たっての、近隣の同意は、法律上どうなっていますか。

天理市：基本的には、同意が無ければ出来ないという事は無いです。天理教と地元の覚書もありまして、地元の同意も得られない中で出来るとは考えておりませんので、地元の同意を得られるように、努力していきたいと思っています。

森本町：すぐ北側が奈良市との境界になっているが、それを超えたら奈良市ですがその辺はどうなんですか。

天理市：かなりの距離があると思うんです。そちらの境界もありますが、問題が生じない施設を造るが、隣に白川ダムがあって、白川ダムの水というのは、郡山市の方が使われていますので、そこは、十分に郡山市と関わっておられる方にも、説明をしていきたいと思っています。

森本町：水処理される、水流すんですけど、こちらと水系は違うと思うんです。高瀬川、櫛川かな、森本は菩提山川水系ですから、ちょっと違うと思います。

天理市：水処理につきましては、処理場の中の水というのは、外に出さないで中で分解し、冷やす水に使います。ごみの置いてある場所、今は露天ですが、今後造っていくのは、建屋の中で造りますんで、それも出る可能性はあります。敷地より一段高くして外へ出ないような工夫もやっていくという計画も持っています。その辺については、当然基準値より上回っていると、稼働出来ませんという法律があります。それより、必ず下回ったもので無ければダメなんで、その辺は徹底して管理していくという事です。建てた後も必ずあるので、建てる時だけクリア出来たらいいという問題ではありません。

森本町：他市町村との件ですが、天理市の思いは。

天理市：出来るなら、一番軽減できる規模でやっていきたいという思いはありますが、相手のある事で、どういうふうになっていくか分かりませんが、他市町村も結構困っておられるという部分ありますので、乗ってこられる所はあるのかなと思います。今のところ・・・。県のやりとりの中で、始めは直接行かない方がいいというアドバイスを受けまして、県で調整させてもらおうと、県も広域化を進めていますし、色んな所の意見も聞いて、どこも特に西側の所の町なんかは、非常に困っておられるという話もありますんで。西の方にもニュータウン出来ていまして、まとまった土地自体が無いという話も聞いています。一方で天理市と同じように、炉が老朽化したという部分があり、かなり困っている。話を投げかけると、よっぽど悪い条件で無いかぎり、来られると聞いています。条件というのが、天理市民が納得する条件でないといけないので、その辺の条件整備しながら、広域化と。周辺からしたら、なぜ他市町村が来るのかというのがあると思うので、最大限、天理市の地元が納得して頂く条件でない、受けられないと思っています。

森本町：焼却した後の灰は、処理の場所、新設した場合は、その処理の場所決まっているんですか。

天理市：有料化の時、説明に挙げた時に、施設の寿命が無いですという事、今、山辺広域第2最終処分場が山添にあるんですが、そこへ運んでいます。その寿命が数年でいっぱいになるんです。今年度測量して、本当に後何年持つのか測量します。それと、大阪湾のフェニックスに運んでいます。関西で120団体の地域が利用し、焼却灰を運んでいます。そのフェニックスも第2期計画をしていますが、平成39年の半ばで第2期も終わってしまうので、それ以後どうするのか、今フェニックスと120自治体で、国の方へ陳情に行っているというのが現状です。39年以後、第3期の

フェニックスをやって頂かないと、いくら焼却炉造っても灰は絶対出るので、捨てる所が無いとどうするにも出来ないの、その辺の調整をフェニックスと国とでやっている。天理としても、フェニックスに要望を上げている状況です。第3期の確約は、まだ取れていません。

森本町：近辺と合同でやると、今まで以上に灰が出るという事ですね。

天理市：広域化する市町村も、どこの市も単独で、焼却の処理場を持っていないので、奈良県でもほとんどが、フェニックスへ行っておられます。ただ、出る灰の量については、フェニックスで、何々市は何t、何々町は何t、天理市は何tと枠を取ってもらっています。天理市が全部受け取る訳にはいかないの、関係市町村に枠配分をして、処理していくという話です。

森本町：メリットが色々あって、費用も広域化すれば、緩和されるんじゃないかと、この付近住民にしたら、近くにごみ処理施設出来るわ、・・・何が自分達に取ってメリットあるのかなってなるのか。どこかに造らないとというのは、納得してくれる人が大半と思うんですけど、近くに来たわ、目に見えたメリットってあるんだろうか。何か、そういう物はあるのか。

天理市：熱処理で、湯が出てきたものを生かして行くという部分がありますが、ただ、敷地的にそんな物が造る所があるのかという事を、これから考えていく。山の辺の道にしても、北ルート等も検討される中で、足湯的なものが出るとか、そのくらいであれば、何とか施設の中でも造れるのかなと、今の所、出来る、出来ないは言えないが、少なくとも地元に対して何かメリットのあるような事を考えていかなければと、今話し合っているところで、具体的には何にするかというのも決まっています。先日から、中之庄も聞かせて頂いて、奈良市と隣接してまして、自分達は、今まで菩提山川でしてこられての話もありました。地元の方の思いもありまして、北部の方に、中之庄、蔵之庄、森本とか、あまり市の北部で市からかまってもらってないというような、かなり厳しい意見もありました。クリーンセンター造るに当たり、何かこちらはマイナスと思っ
てないですが、プラスとマイナスを合わせた施策展開というのは、考えておりますので、ご理解を頂きたい。

森本町：何かしらのメリットも無かったら。

天理市：そうですね。

森本町：有料化、もう何年後かになるかわからないが、施設出来たら有料化になってくるんですね。

天理市：前市長の時に有料化する前に、市民に知ってもらわないといけないと、半年間くらい説明に回らせてもらって、市内全部回る前に、任期切れて、有料化の説明も中途半端になってしまったという経緯があります。

森本町：井上課長は、その時に居たメンバーで、今市長代わられて、一旦ストップで、見直しされました。ずーっとやって来たものには、なかなか答えにくい質問です。選挙もあって、そういうのも

破談にされて、市長になっておられますので、政治判断的なものもあると思うので。

天理市：近隣は、生駒市4月から有料化スタートしました。国の方での1つの方策として、経済的インセンティブを与えてごみ減量化と。ごみ減量したら、焼却炉の規模が小さくなるので、最終的には市民に返ってくると、焼却炉1t発起したら5,000万円の費用が掛かります。10t違ったら5億円変わりますので、ごみの減量というのは、目に見える将来的に渡って節約できるという事なんです。それを、国はやっていけと言われていた所なんです。時の市長の政治的判断とか、その辺もかなり左右される所です。今後、並河市長と協議しながらやって行きたいと思っております。

森本町：建屋、新しくなったら、近代化されるという事ですが、天災とか、インシデント的な・・・ね。

天理市：建てる場合は、火力発電所に準じて建てなさいとなっています。下の地面の状態とか色々な事、勘案されますので、今、原子力発電所そんな事になっていますが、あれは、地震より津波の方でダメになった。火力発電は震度6が基準で、今後、東海、南海が天理市では震度5から6と、それくらいの基準で建てていくという事になります。一つの目安の基準として建てていきたい。

森本町：環境ISOとかやっているんですか。

天理市：ISOというより、環境影響調査という、そこに施設が来る事によって、今の環境がどう変わっていくのかという調査を行った上で、OKですと答えが出ないと、当然施設自体が動いて行きませんので、その辺の調査を4年かけてやっていくという事です。

森本町：継続的な審査あるという事ですね。

天理市：稼働してからも、定期的に検査はやって、公表して行きますので、それでダメとなれば稼働停止になります。

以 上